

恒例のカラオケコンテスト 今回は…

中高年層中心の 「シルバー祭り」に

中標津

審査委員長「元気である催しに」
牧野さん

【中標津】カラオケコンテスト「大地のど自慢 中標津・別海・標津・羅臼」(同実行委員会、北海道新聞社など主催)は、四回目となる今秋の開催から「大地のシルバー元氣祭り」と銘打ち、中高年に軸足を置いたイベントに改められる。



「高齢者が元気になるイベントにしたい」と語る牧野さん

同コンテストはこれまで、ポピュラーなどジャンル別二部門と、十六歳以上を年齢で三つに区切った歌謡曲三部門の計五部門を設け、毎年九月に本選を行ってきた。

これに対し、今回からは、ジャンル別を「歌謡曲・ポピュラー・ポップスの部」に一本化。年配の人が参加しやすいよう、年齢別を「ミニ・シルバー」(五十一〜六十歳)、「シルバー」(六十一〜七十歳)、「ゴールドシルバー」(七十一歳以上)の三部門に再編成した。

部門再編は、「赤いゲラス」のヒット曲で知られる作曲家で、同コンテストの審査委員長を務める牧野昭一さん「中標津在住」の発案。「高齢者がカラオケで元気を取り戻す姿をずっと見てきた。介護などで若い人たちに面倒をかけないよう高齢者を元気にしたい」との願いを込めた。

同コンテストは七月下旬にテープによる一次審査を行い、決勝大会を九

月九日午後六時から中標津町総合文化会館で開く。一次審査の参加料は一曲千円。応募締め切りは七月二十日で、問い合わせ先は同実行委員長の阿部俊勝さん 090・9750・2844